

※1枚ずつお取りください。

川上校区 第133号 公民館だより

発行 佐賀市立川上公民館 TEL (62) 5775 FAX (62) 5775
E-mail : kkawakami@city.saga.lg.jp

令和5年(2023年)3月



しだれ梅 (水上地区の内田邸)

佐賀市の人口 229,272人 川上校区の人口 5,732人 川上校区の世帯数 2,205世帯【令和5年1月末現在】

川上校区公民館からのお知らせ
佐賀市のwebサイト「つながる川上」

まちづくり協議会で実施している活動、
校区の行事、公民館講座など、生活に役立つ
便利で楽しい情報を掲載しています。

「つながる川上」



公民館のご利用について
皆さんの生涯学習やサークル活動、地域コミュニティ活動の場として、どなたでも部屋のご利用ができます。
(※営利活動等は除く)



「公民館予約システム」
自宅からでも



公民館主催・共催講座募集のお知らせ

「野菜作りと収穫」を楽しむ家庭菜園教室を開催します

- 夏野菜(しゃくし菜・キュウリ・ナス・ズッキーニ)を作るための13区画(1区画約3.0m×4.5m=13.5㎡)の土地を1グループまたは、1家族につき1区画を解放します。
- 参加者が教室以外の野菜を植えられて収穫することも出来ます。

苗植付け日: 5月14日(日)

作業時間: 9:00~11:30

集合場所: 川上校区公民館

参加費: 2,500円(秋冬野菜込み)

募集区画: 13区画(13組・先着順)

申込み締切: 4月24日(月)

持参品: 軍手、移植ゴテ、ジョウロ



公民館・まち協共催(写真は過年度の家庭菜園の様子)

公民館主催・共催講座の報告

川上の郷土料理「鮎の昆布巻き」教室を開催しました

川上で古くから伝わる郷土料理「鮎の昆布巻き」は、おくんちなどのハレの日に、どこの家庭でも作っていたそうです。講師として、池上自治会にお住いの北村タツ子さんと永淵チエ子さんをお願いしました。

レシピに頼らず、むかし味の記憶をたどり、調味料(醤油、ザラメ、水飴他)の加減は、勘に頼っての味付けです。大鍋(コンニャク、レンコン、ゴボウ、大根、昆布に巻いた鮎の順)の火加減を調整しながら3日(18時間)かけて煮込みました。持ち帰りのために集まった参加者は、出来栄にいたく感動されていました。【1月24日(火)~26日(木) 参加者15名 公民館・まち協共催】



昆布で巻いて楊枝でとめます



順番通りに大鍋へ



名人二人に教わりました



申し分ない出来上がりです

※詳細については、川上校区公民館(Tel 62-5775)にお問い合わせください。

第3回かわかみ凧あげ大会を開催しました

川上校区の各種団体で実行委員会を組織し、準備に3回の会議を重ねてきました。

当日は、風にも恵まれ凧あげには絶好の日和となり、子どもから高齢者まで幅広い世代の人が参加しました。親子、友人の絆を深めることを目的にしたイベントは、成功裏に終了しました。

また、最近結成された「よかやっこ大和」の皆さんもスタッフとして、急遽応援に駆けつけていただき、無料出店をしていただきました。各種団体相互が支えあうことで、地域コミュニティの形成につながっていく大会にもなりました。スタッフの皆さん本当にお疲れ様でした。有難うございました。

【開催日：令和5年1月15日 校区内外総参加数：456名】

【主催：川上校区凧あげ大会実行委員会（構成数9団体） 共催：川上校区公民館】



受付では大忙しでした



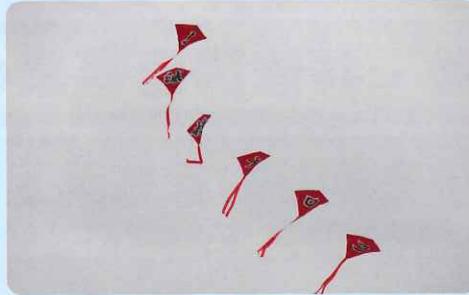
親子友人で楽しく揚げました



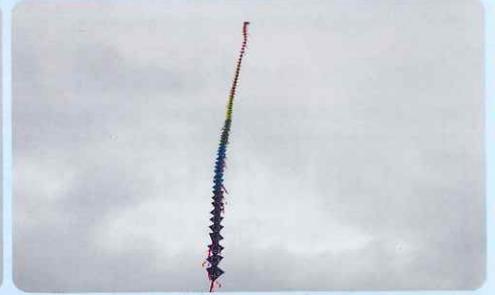
競技では親子との共同作業です



連凧との競演です



コロナ絶滅を祈願した連凧です



70連の連凧は圧巻でした



ぜんざいの餅を炭火で焼きました



PTAによるぜんざいの無料配布に行列ができました



よかやっこ大和による綿菓子作り



まちは協で育てた大根の無料配布



バラモン凧のプレゼントにジャンケン



手作りのバラモン凧をゲットしました



凧あげの会場にはこんな案山子も



川上校区ふれあい交流会が開催されました

一人暮らしの高齢者（75歳以上）を対象に川上校区ふれあい交流会が開催されました。

川上小6年生による歴史研究発表に始まり、日舞、民舞など8演目が披露されました。

和やかな雰囲気であった会場は、ひょっとこ踊りが始まるとしだいに笑いの渦へと変わっていきました。

最後のバナナのたたき売りでは、盛り上がりが高潮に達し完売するほどに賑わいました。抽選会では、景品が全員貰えたことで高齢者の方は大喜びでした。帰りの際は、弁当のお持ち帰りとおみかんの配布でお開きとなりました。川上小児童による茶席も設けていただき有難うございました。また、交流会の準備に奔走されたスタッフの皆さん大変ご苦労様でした。【12月25日（日）主催：校区社会福祉協議会・校区民生委員児童委員協議会・出演者・スタッフ含め総参加者173名うち75歳以上41名】



川上小6年生歴史研究発表



ハーモニカ演奏



ひょっとこ踊り



バナナのたたき売り

令和4年度二十歳のつどい（大和会場） 「はばたけ、それぞれの未来へ」気持ちも新たに

1月8日（日）大和町内の202人（川上校区49人）の二十歳のつどいが龍登園で執り行われました。会場では、友人や恩師との再会で喜びと熱気にあふれていました。二十歳代表の立石大喜さんが「これまで支えてくれた家族や友人、そして地域の皆様に感謝し、大人としての自覚と責任を持って社会に貢献していきます！」と決意を述べてくれました。



大和会場（龍登園）の式典の様子です



スタッフの皆さんで記念写真



感謝の言葉（立石大喜さん）

自主防災会本部で炊き出し訓練を実施しました

川上校区自主防災会活動として、年4回の取り組み計画の一つ、炊き出し訓練を「かわかみ凧あげ大会」に併せて実施しました。この日は、凧揚げ参加者を避難者とみなして防災食（ハイゼックス米とレトルトカレー）250食を準備しました。多くの参加者であふれた会場では、子ども連れの親子、スタッフ、見物の皆さんが列を作り防災食の提供を受けていました。

自主防災会本部派遣要員の皆さん本当にお疲れ様でした。有難うございました。

【1月15日（日）主催：川上校区自主防災会本部】



防災会本部で準備しました



防災会派遣要員で炊き出し



行列ができました



試食タイムです



「未来の自分への手紙」と再会 22年前に埋めたタイムカプセル



昭和63年生まれの、当時の池上自治会の子どもたち（10人）が、小学校6年生の時に埋めたカプセルと22年ぶりの再会を果たしました。この日は、親子三世代14人が集まり忘れかけた記憶をたどり、共同作業で土の中に埋められたカプセルを掘り起こしました。子から親へ宛てた手紙、親から子へ宛てた手紙など、数点を塩ビ管の中から取り出しました。一人一人が自分のものを見つけ出した瞬間どっと歓声があり、当時の自分にタイムスリップしたかのように懐かしんでいました。【取材日：1月15日（日）】



記憶をたどり探しました



やっと掘り当てました



ワインやウイスキーも



三世代で集合写真です

佐賀市地域づくり交流会に参加しました

メートプラザ佐賀を会場に、佐賀市地域づくり交流会が開催されました。市内のまちづくり協議会31団体他、市民活動団体、企業、大学など、総数53団体の参加で行われました。

テーマは「持続可能なまちづくり～明るい未来へつなぐバトン～」です。川上校区まちづくり協議会の役員など7人が参加しました。プログラム「つながりタイム」では、川上のまちづくり協議会を代表して、山口浩子さん（長寿部会副部会長）が一年間の活動内容を発表されました。また、各団体の取り組みを紹介した展示パネルやブースが設けてあり、自由に話を聞くなど交流も行いました。

この交流会が未来へのまちづくりのヒントになればと思っています。【取材日：1月28日（土）】



川上まち協の活動内容を展示



川上のブースには沢山の人が



山口さんが川上の活動発表



川上みかんのサービス

プロから伝授「親子でプリンアラモード」に挑戦しました

2月5日（日）地元川上の横尾シェフから、プリンアラモードを通して「フルーツカット」の作り方を教えていただきました。まずは、手洗い・消毒、エプロン・三角巾を着用し、包丁の使い方から包丁の危険性について学びました。リンゴのうさぎちゃん切りと葉切り、オレンジ羽切りは難易度が高く失敗を繰り返しながら親子で挑戦しました。パイナップルの種が斜めについていることも、カットを通して学ぶことができました。包丁の使い方も、挑戦を続けるうちに力加減を学び上達してきました。

フルーツカットが終わり、シェフ奥様の自家製プリンにクリームをのせ盛り付けしました。

皆さん思い思いに見栄えよく盛り付けることができ、完成したプリンアラモードをみんなで自慢し合っていました。自分で作ったスイーツは、美味しすぎてあっという間に完食しました。最後に料理は片付けまでということで、みんなで片付けをして無事に終了しました。

【主催：まち協（子育て部会）4組の親子（大人4名、こども7名）写真・記事提供：久富里香さん】



シェフの話の後親子で一つ一つ丁寧に仕上げていきました



プリンアラモードの完成です

